

ロボデザイナー RoboDesignerロボット塾

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁 きいだ かつひと

第2回 小手調べに電子ルーレットを作ってみよう



ロボデザイナーの基本セットとして発売されている、オリジナルロボット製作セット「RDS-X01:Platform」。ロボットを作って動かしてみるのに必要なパーツが一通り揃っている。

【製品についてのお問合せは下記窓口まで】

(株) ジャパンロボテック カスタマーセンター
E-mail : info@japan-robotech.com
TEL : 092-283-6270 (平日10:00~17:00)
FAX : 092-283-6271

RDS-X01:Platform 仕様 (セット内容)	
コントローラ	RDC-101
入力	タッチセンサRDI-201 アナログ赤外線センサRDI-202
出力	DCモータ付ギアボックスRDO-501
パーツ	ユニバーサルプレートRDP-801 L型ユニバーサルプレートRDP-802 ユニバーサルピラー RDP-803 ケーブル (20cm) RDP-804 ケーブル (30cm) RDP-805 ユニバーサルキャスターRDP-806 タイヤホイールセットRDP-807 ケーブル (RDI-301用) RDP-808 電池ボックスRDP-809
通信	232Cシリアル通信ボードRDI-301 RDI-301とパソコンを接続するシリアルケーブルも同梱
その他	ソフトウェアTiColla (CD-ROM) RDP-901
プログラム環境	232Cシリアル通信ポートのあるWindows互換機 〔TiColla〕 または市販のUSBシリアルアダプタを接続した
動作条件	Windows互換機 対応OS : WindowsXP / 2000 / NT
価格	¥9,975 (税込み)

ロボデザイナーは、ジャパンロボテックの自作ロボット用製品群の総称である。シンプルで高性能、それにもかかわらずごろな価格で入手できるのが特長だ。コントローラや入出力系、ボディをつくる構造部品を自由に組み合わせながら、ロボットの製作を行える。

柔軟に設計されているので、教育現場の各段階 (中学、高校、工業高校、高専、大学) や各専門課程 (一般、電気/電子、情報、機械、計測、制御、コンピュータ) などにおいて、幅広く活用することができる。

電子ルーレットの仕組みを作る

前回は、ロボデザイナーの紹介を行った。今回は、いよいよそのロボデザイナーを使った製作だ。

初めての製作ということもあり、小手調べとして電子ルーレットを作ってみること

にした。1から6までの数字を記した円盤の回転で、サイコロのような使い方ができるものだ。

円盤の回転には、ロボデザイナーのプラットフォームセットに同梱されるギアボッ

クスの1つを使う。それをユニバーサルプレートの裏側に取り付け、表面の円盤を回転させる。

円盤の製作とギアボックスの取り付けには、タミヤから発売されている工作パーツ